

安協だより

一般財団法人 熊本県交通安全協会

「横断歩道 止まって渡す思いやり」

※熊本県交通安全推進連盟(県下の自治体や各種機関
(県警や当協会も含まれる)が参画)が行う
「てまえ運動」のキャッチフレーズ



(一財)熊本県交通安全協会
会長 與繩 義昭

熊本県の紹介

熊本県は、世界有数のカルデラを誇る阿蘇に由来して「火の国」と呼ばれる一方で、県内1000か所以上も点在する湧水により、水資源の宝庫という趣旨で「水の国」とも呼ばれています。

「熊本」で連想するものをいくつか羅列しますと、観光地なら阿蘇・天草・熊本城、食べ物なら馬刺し・辛子蓮根・いきなり団子、武将なら加藤清正・小西行長、ご当地キャラならくまモンなどが挙げられます。近年、熊本は、新型コロナウイルス

県内には、こんな所も!



阿蘇の山々とその裾野を走る「南阿蘇鉄道」のトロッコ列車(7月、熊本地震で被災した全線17.7kmの運転を再開「火の国熊本」)。



熊本市民の憩いの場である湧水湖「江津湖」、その水は加勢川となり海に注がれる(水の国熊本)。



熊本地震からの復興のシンボル熊本城天守閣。その雄大な姿は熊本県民の安心の拠り所。

ス感染症に加え、平成28年の熊本地震、令和2年7月の豪雨災害の「3つの困難」に直面し、災害からの創造的復興を目指す一方で、世界的な半導体メーカー台湾積体回路製造(TSMC)の工場誘致に伴い、県内を代表する五つの経済団体が台湾の大手企業グループが名を連ねる二つの団体と業務協力の覚書を結んだり、熊本ー台北間の国際定期航空路線が週9往復就航(10月末現在)するなど、台湾との経済や人の交流が活発になっています。まさに、今、熊本は大きな変革の時期を迎えていると言っても過言ではないと感じています。

当協会の概要

当協会は、昭和24年4月、「熊本県交通安全協会連合会」として設立され、平成25年4月から現在の「一般財団法人熊本県交通安全協会」に移行しています。

主な事業としては、広報啓発等の交通安全意識啓発事業、土地の賃貸や売店運営等の厚生事業、運転免許事務等の委託事業及びTSMマークの交付等の交通安全資料等幹旋事業を行っています。

また、県内には、警察署単位毎に23の地区交通安全協会があり、各地区交通安全協会の会長には、当協会の役員という立場で当協会の運営、活動にご尽力いただいております。県と地区それぞれの交通安全協会が互いに連携し、県下の交通安全と円滑の促進のために事業を推進しています。

当協会の取組

(1) 広報啓発活動

県民総ぐるみの運動を推進するた

めに、県警、自治体、各地区交通安全協会等と連携を図りながら、各種の交通安全運動に参画するほか、広報誌「交通熊本」の発行や各種媒体を活用した交通安全広報を推進しています。

その例をいくつか紹介しますと、歩行者の安全確保への取組の一環として、県警等の協力を得て、「歩行者保護啓発ステッカー」を作成し、トラック・バス・タクシー等（歩行者保護宣言カー）に貼付していただき、歩行者保護の意識を高める活動を行いました。

また、JA共済が毎年秋に行っている小・中学生を対象にした交通安全に関するポスターコンクールに参画し、同コンクールで金賞を受賞した作品を転写した交通安全のぼり旗を作成し、県内の個人や団体に無償で貸し出し、ひいては、県民の皆さまに、生徒さんが描いたポスター画を見ていただくことで、交通安全意識を高めていただく活動を行っています。

(2) 安全講習

子ども及び高齢者を対象とした参加・体験型の交通安全教育、自転車

利用者に対するルールとマナーの周知を図るための「自転車の交通安全ブック」の頒布、二輪車及び自動車の運転者を対象とした各種の安全運転講習会を開催するなど、対象に合わせた効果的な講習を目指しています。

当協会の業務の一つに、原付免許取得時に行う「原付免許講習」がありますが、その延長として、原付免許を取得して間もない原付バイク通学高校生を対象に、学校単位で安全確認や運転技術向上のための実技中心の講習・指導を行っているのもその一例です。

(3) 安全運転競技会

新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止していましたが「交通安全子供自転車大会」を本年度から、「二輪車安全運転大会」を昨年度から、それぞれ再開しました。

自転車大会は4年振りの開催だったため、以前に比べ出場チームが減少しましたが、地元新聞紙面に大きくとりあげていただきましたので、その反響により、次回から出場チームが増加することを期待しているところです。

安協だより



原付バイク通学高校生対象の講習・指導



歩行者保護宣言カー(止まるモン)出発式



令和5年度交通安全子供自転車熊本県大会



交通安全ポスターを転写した交通安全のぼり旗



令和5年度二輪車安全運転熊本県大会

また、二輪車大会は、全国大会の廃止に伴い、本県でも本年度を最後に廃止する方向で検討しています。今後は、前述の高校生を対象とした原付運転安全講習会を中心に、ビギナードライバー向けの安全講習にシフトしていきたいと考えています。

(4) 指導者育成

新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止していましたが「自転車安全教育指導員」や「二輪車安全運転(特別)指導員」の資格審査会を昨年度から再開しました。



東京ドーム4.5個分の広大な敷地に建設中のTSMCの工場

その他、地域交通安全活動推進委員の研修会やサポカーに対する研修会を行っており、県下の交通安全の核となる人材の育成に努力していきたいと考えています。

結びに

前述の「3つの困難」とりわけ、新型コロナウイルス感染症による行動制限の影響を受け、当協会でも、ここ数年は活動に大きな制約を受けました。

ただ、そのような情勢下でも、様々な対策を講じながら、いくつもの事業を継続してきましたし、地区交通安全協会が行う「街頭における見守り活動」の火が消えることもありませんでした。

本年の5月に感染症法上の5類に移行したことを受け、今後は、当協会の各種活動をコロナ禍前の軌道に戻すことが最重点と考えています。

また、災害からの創造的復興がさらに進み、加えて台湾などとの経済や人の交流がさらに活発になれば、県下の交通情勢が大きく変わる可能性も否定できません。

その一例として、前述のTSMCなど企業の進出や人口増加が著しい地域では、幹線道路は勿論、狭い生活道路や農道が抜け道に使われ、交通渋滞とともに交通事故の発生が増加傾向にあります。

このような変化にも的確に対応しながら、今後も、交通安全の確保に向けた様々な事業を推進し、道路における交通の安全と円滑の促進に寄与して参りたいと考えています。

認知・判断力診断 セルフチェック版

対象：運転者/A4判 20ページ(2冊分) 4色刷/341円(税込)/送料別



自動車を安全に運転するのに欠かせない認知・判断の基礎的能力は、加齢とともに低下しますが、これをペーパー式の検査で、自分一人でも、簡便に測定できるよう開発された診断用紙です。65歳以上の高齢者を想定して作成しましたが、車の運転免許を持っている人であれば、年齢に関係なく実施することができます。

申込先：(一財)全日本交通安全協会

<https://www.jtsa.or.jp/>

当協会ホームページの「交通安全ショップ」をご覧ください。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 自動車会館 7F TEL 03-3264-2641(代表) FAX 03-3264-2645